

第48回筑紫野市民体育祭山家地区大会が、10月9日（日）に山家小学校運動場にて行われました。本大会は「山家宿創設400年記念事業」と併せた大会となり、674名の参加のもとに楽しい一日でした。大会前に、ある区で不幸があり区全体が参加出来ないことになり、急遽組合せを9組から8組に変えて大会を実施しましたが、そこは山家の連帯感の強さで何の支障も無く運営され、改めて山家の力を感じた印象深い大会となりました。プログラムは昨年と同様のものでしたが、参加者皆さんが競技を楽しみました。

年配の方の競技で輪投げを行いました。距離が近すぎて「年寄りを馬鹿にしとるのかい！」といった力強いご意見もありました。



一般競技でネットパスラリーをしましたが、昨年の要領を覚えていたためかパス回数がビックリするような記録ができました。

幼稚園児の競技は、二組に分かれて、動くダンボール箱に玉入れをおこないましたが、グラウンドいっぱい元気な子ども達が走り回っていました。





タイヤで GO! では得点競技ではないのにやたら張り切ったお父さんがいて、タイヤに乗っている子どもがスッテンコロリン。
注意して引っ張って下さいといったのに、大人のワガママがでた一面でした。

オープン参加のグループリレーでは、皆さん真剣に走りました。子どもの部では何も問題はなかったのですが、大人の部では競技前にバトン位置を注意したのに、ルールを守らないチームがあり失格になったのは残念でした。



大玉運びは得点競技で、玉を落とした地点まで戻らせるルールのために、競技審判も大玉と一緒に走り、落とした地点まで引きかえさせたり、競技者と審判共に走り回って大変でした。
お疲れさまでした。



小学校高学年以上の競技で借り物競争をしました。様々な人が引っ張り出されてテンヤワンヤの楽しい競技でした。特に区長さんは本部近くに居て、グラウンドを一周する事になりフウフウ言いながら走っていました。





綱引きは競技者も力が入るのですが、応援もヒートアップしていました。昨年から、優勝決定戦は別種目として幾つかの競技の後に行い、二度楽しみました。

アイラブユーは男女ペアで走ってお腹で風船を割るリレーで、得点競技とは思えない和やかさがありました。なかなか割れずにシドロモドロ、気合が入って風船を取った瞬間に割れた等、大変面白かったです。が、各区の得点には大きく差がでてしまいました。



小学校の子どもたちは、久しぶりに障害物競走を行いました。「くぐってとんで、パッケンコ」の種目名通り綱くぐり⇒縄跳び⇒平均台⇒パン(お菓子)喰いの内容で、みんな一生懸命競技をしていました。参加者が多くて、来年は競技方法を少し考えなければならぬようでした。

なんと言っても盛り上がったのは区対抗リレーでした。予選・決勝ともに、年齢別・性別に9名がバトンをリレーしましたが、各区ともに健脚揃いで、白熱したレースになりました。中央区Aが栄えある栄冠を勝ち取りました。





最後は恒例の「楽しく踊ろう」で、老若男女多くの参加者が楽しく踊りました。炭鉱節・筑紫野音頭・山家小音頭・オクラホマミキサーを予定していましたが、時間も押しており、3曲を踊りました。

昨年は2区の優勝でしたが、今年は安定して得点を重ねた中央区Aが優勝しました。今年は昨年と同様なプログラムでしたが、召集が悪く競技開始が遅れがちになりましたので、来年の課題となりました。
(スポーツ推進委員・木村)